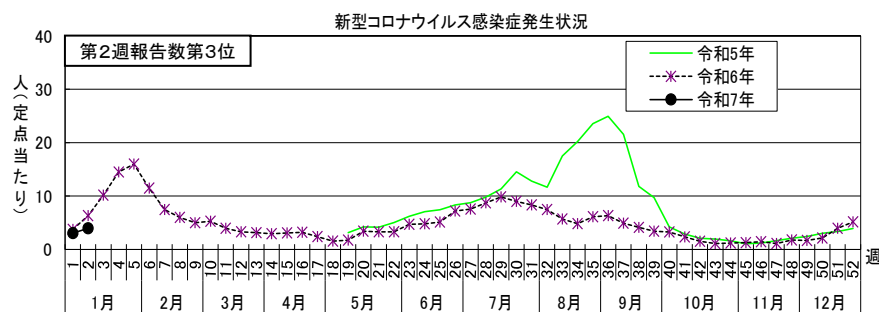
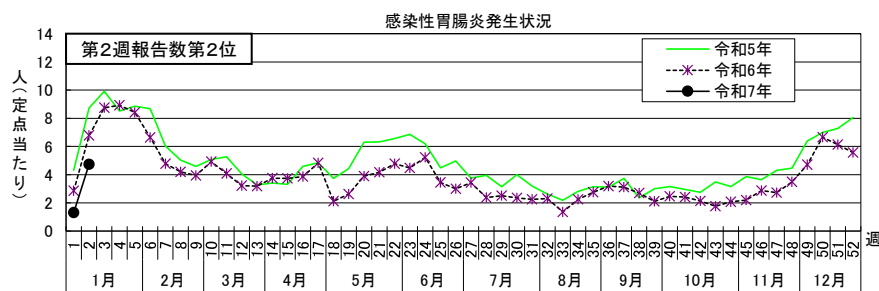
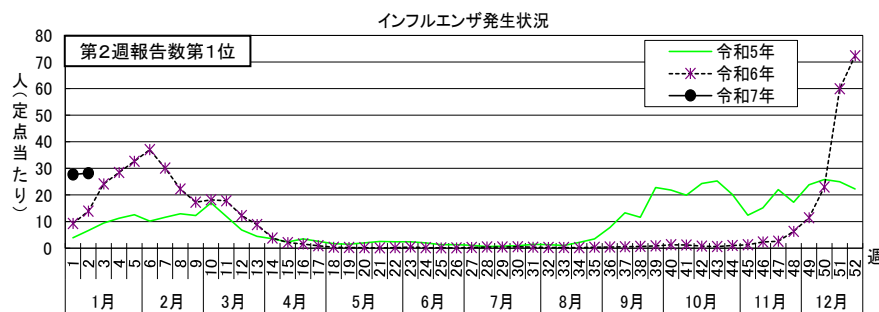


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年1月6日（月）～令和7年1月12日（日）〔令和7年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は28.18人と前週（27.73人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.73人と前週（1.32人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.97人と前週（3.04人）から横ばいでした。



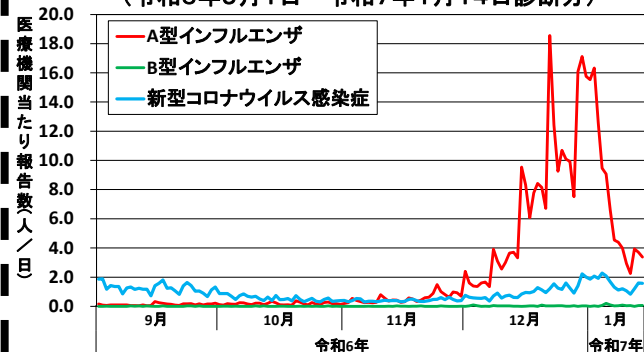
インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の流行の現状

川崎市では、A型インフルエンザ、B型インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症のリアルタイムサーベイランスを実施しています。

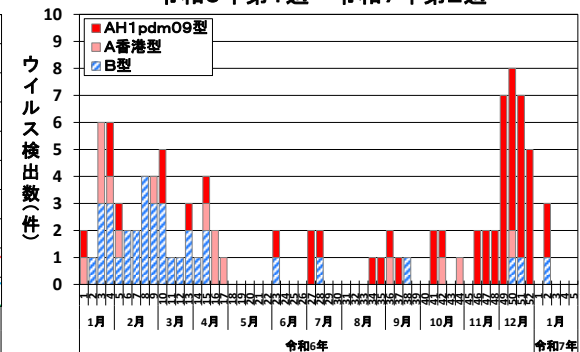
インフルエンザは12月中旬にA型の報告数が急増し、下旬にピークを迎えた後減少しました。現在も主流はA型ですが、年始以降はB型の報告もみられており、年末以降に当研究所に搬入された検体からもB型が検出されています。また、新型コロナウイルス感染症の報告数も年明け以降減少していましたが、現在は横ばいで推移しています。

いずれの疾患も年末年始の影響で増減がみられますが、流行は継続しています。発熱や倦怠感等の症状が強い場合は早めの受診を検討しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザのリアルタイムサーベイランス医療機関当たり報告数推移（令和6年9月1日～令和7年1月14日診断分）



川崎市におけるインフルエンザウイルス検出状況
—令和6年第1週～令和7年第2週—



川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）（令和7年1月15日10時時点）



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当・各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250 令和7年1月15日作成